



## 平成28年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 精工技研

コード番号 6834 URL <http://www.seikoh-giken.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 上野 昌利

問合せ先責任者 (役職名) 管理部長

(氏名) 斎藤 祐司

TEL 047-388-6401

四半期報告書提出予定日 平成27年11月13日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家及びアナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成28年3月期第2四半期の連結業績(平成27年4月1日～平成27年9月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
28年3月期第2四半期	5,904	10.4	433	90.9	462	68.1	252	146.0
27年3月期第2四半期	5,346	19.7	227	147.8	274	162.8	102	—

(注)包括利益 28年3月期第2四半期 273百万円 (—%) 27年3月期第2四半期 △142百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
28年3月期第2四半期	27.46	27.36
27年3月期第2四半期	11.18	11.13

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
28年3月期第2四半期	24,701	21,223	85.9	2,307.79
27年3月期	24,250	21,022	86.7	2,286.47

(参考)自己資本 28年3月期第2四半期 21,215百万円 27年3月期 21,013百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
27年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
28年3月期	—	0.00	—	—	—
28年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成28年 3月期の連結業績予想(平成27年 4月 1日～平成28年 3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	12,170	5.7	800	45.8	840	30.3	420	38.3

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 — 社 (社名) 、 除外 — 社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注)詳細は、添付資料P4「(3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

28年3月期2Q	9,333,654 株	27年3月期	9,333,654 株
28年3月期2Q	140,690 株	27年3月期	143,090 株
28年3月期2Q	9,191,809 株	27年3月期2Q	9,175,056 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表の四半期レビュー手続は終了しております。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)P3「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、平成27年11月17日にアナリスト向け説明会を開催する予定です。この説明会で配布する決算補足説明資料については、開催後当社ホームページに掲載する予定です。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、欧米においては個人消費を中心に堅調な景気拡大が続いたものの、中国やアジアの新興国経済は成長の鈍化が顕著となりました。我が国経済は企業収益が回復を維持しているほか個人消費も持ち直しの傾向にあります。しかしながら、中国をはじめとする海外経済の停滞や不安定な金融情勢等による国内景気への下押し懸念は払拭できない状況が続いています。

当社グループが関わる情報通信関連やエレクトロニクス関連市場においては、機能を抑えた低価格のスマートフォンの普及が進みました。これらモバイル端末の拡大を背景に、時間や場所を選ばずにインターネットを介して様々な情報に触れることを可能にする「モノのインターネット (Internet of Things : IoT)」に係る新しいデバイスやソフトウェア、サービスの開発に拍車がかかっています。また、自動車関連市場においては、より安全で快適な運転環境の実現に向けて、自動車メーカー各社が自動運転システムの開発に注力しており、車載カメラやセンサー等のキーデバイスの進化に注目が集まっています。

こうした中で当社グループは、各種の精密成形品や金型、高耐熱レンズ等を主力製品とする精機関連、光通信用部品とその製造機器、光伝送装置等を主力製品とする光製品関連の両セグメントにおいて、売上の拡大と新製品、新技術の開発に努めました。また各工場では、価格競争力の強化に向けて、一部の生産工程の自動化や調達コストの削減等を通して原価率の改善に取り組みました。

こうした結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は、精機関連、光製品関連の両セグメントにおいて増加し、5,904,961千円（前年同四半期比10.4%増）となりました。売上高の増加に加え、原価率の改善が進んだことで営業利益は433,366千円（前年同四半期比90.9%増）、経常利益は462,179千円（前年同四半期比68.1%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益は252,381千円（前年同四半期比146.0%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### ① 精機関連

精機関連では、超精密金型技術を利用した精密成形品の拡販に注力しています。当第2四半期連結累計期間においては、金型の売上が減少したものの、電子機器向けの金属プレス成形品の販売が好調に推移しました。そのほか、車載用成形品やスマートフォンに搭載される高耐熱レンズも堅調に売上を伸ばすことができました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の精機関連の売上高は3,657,350千円（前年同四半期比12.6%増）となりました。損益面では、売上高の増加に加え、採算性の良い製品の販売が好調に推移したことで原価率が改善し、営業利益は308,592千円（前年同四半期比143.9%増）となりました。

#### ② 光製品関連

モバイル端末の普及やIoTの拡大等を背景に、世界を流通する情報データ量は急速に増大しており、これに対応するため、世界の各地で光通信網の敷設が進められています。これを受けて光通信用部品の需要量も増加していますが、市場で大量に使用される汎用的な部品は価格の下落が恒常的になっています。また、当第2四半期連結累計期間においては、地上デジタル波の送受信設備の置き換え需要が高まりを見せ、光伝送装置の売上高が増加しました。これらの結果、当第2四半期連結累計期間の光製品関連の売上高は2,247,610千円（前年同四半期比7.2%増）となりました。損益面では、売上高の増加に伴い、営業利益は125,740千円（前年同四半期比23.8%増）となりました。

## (2) 財政状態に関する説明

### ① 資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は24,701,937千円となり、前連結会計年度末から451,780千円増加いたしました。流動資産は14,545,598千円となり、前連結会計年度末から309,420千円増加いたしました。その主な要因は、子会社の不二電子工業株式会社の未収入金が増加したこと等に因ります。固定資産は10,156,339千円となり、前連結会計年度末から142,360千円増加いたしました。その主な要因は、子会社の不二電子工業株式会社が北海道千歳市に工場を建設するために建設仮勘定が増加したこと等に因ります。

当第2四半期連結会計期間末の負債合計は3,477,974千円となり、前連結会計年度末から250,721千円増加いたしました。その主な要因は、受注増に伴い材料等の買掛金が増加したこと等に因ります。

当第2四半期連結会計期間末の純資産合計は21,223,962千円となり、前連結会計年度末から201,059千円増加いたしました。その主な要因は、利益剰余金が増加したこと等に因ります。

### ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間末における現金及び現金同等物の残高は2,076,825千円となり、前連結会計年度末から449,587千円減少いたしました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

#### (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、資金は460,053千円増加いたしました(前年同四半期は665,813千円の増加)。営業活動による資金増加の主な要因は、税金等調整前四半期純利益462,273千円、仕入債務の増加額300,098千円、減価償却費323,745千円等であり、資金減少の主な要因は、売上債権の増加額294,585千円、法人税等の支払額255,768千円等であります。

#### (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、資金は840,783千円減少いたしました(前年同四半期は646,929千円の減少)。投資活動による資金減少の主な要因は、有形固定資産の取得による支出613,987千円、定期預金の預入れと払戻しの差額240,198千円等であります。

#### (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、資金は77,952千円減少いたしました(前年同四半期は50,641千円の減少)。財務活動による資金減少の主な要因は、配当金の支払額72,972千円等であります。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成28年3月期の連結業績予想につきましては、最近の市場環境と業績動向を踏まえ、平成27年5月14日に公表いたしました業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(平成27年11月13日)公表いたしました「平成28年3月期第2四半期連結業績予想との差異及び通期連結業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

### (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

#### (会計方針の変更)

「企業結合に関する会計基準」(企業会計基準第21号 平成25年9月13日。以下「企業結合会計基準」という。)、  
「連結財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第22号 平成25年9月13日。以下「連結会計基準」という。)  
及び「事業分離等に関する会計基準」(企業会計基準第7号 平成25年9月13日。以下「事業分離等会計基準」という。)等を、第1四半期連結会計期間から適用し、支配が継続している場合の子会社に対する当社の持分変動による差額を資本剰余金として計上するとともに、取得関連費用を発生した連結会計年度の費用として計上する方法に変更いたしました。また、第1四半期連結会計期間の期首以後実施される企業結合については、暫定的な会計処理の確定による取得原価の配分額の見直しを企業結合日の属する四半期連結会計期間の四半期連結財務諸表に反映させる方法に変更いたします。加えて、四半期純利益等の表示の変更及び少数株主持分から非支配株主持分への表示の変更を行っております。当該表示の変更を反映させるため、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度については、四半期連結財務諸表及び連結財務諸表の組替えを行っております。

当第2四半期連結累計期間の四半期連結キャッシュ・フロー計算書においては、連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に係るキャッシュ・フローについては、「財務活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載し、連結範囲の変動を伴う子会社株式の取得関連費用もしくは連結範囲の変動を伴わない子会社株式の取得又は売却に関連して生じた費用に係るキャッシュ・フローは、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の区分に記載する方法に変更しております。

企業結合会計基準等の適用については、企業結合会計基準第58-2項(4)、連結会計基準第44-5項(4)及び事業分離等会計基準第57-4項(4)に定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首時点から将来にわたって適用しております。

なお、当第2四半期連結累計期間において、四半期連結財務諸表に与える影響額はありません。

## 3. 四半期連結財務諸表

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	9,428,672	9,220,428
受取手形及び売掛金	2,297,260	2,327,931
商品及び製品	375,555	458,163
仕掛品	407,297	417,832
原材料及び貯蔵品	799,956	936,123
未収還付法人税等	68,841	82,258
その他	863,971	1,108,343
貸倒引当金	△5,377	△5,483
流動資産合計	14,236,178	14,545,598
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	5,523,402	5,584,880
減価償却累計額	△3,511,937	△3,587,717
建物及び構築物(純額)	2,011,465	1,997,162
機械装置及び運搬具	4,699,279	4,835,199
減価償却累計額	△3,873,985	△3,950,329
機械装置及び運搬具(純額)	825,294	884,870
土地	2,335,796	2,335,796
建設仮勘定	332,117	639,500
その他	4,556,384	4,629,490
減価償却累計額	△4,148,864	△4,234,271
その他(純額)	407,520	395,219
有形固定資産合計	5,912,194	6,252,548
無形固定資産		
のれん	2,058,953	1,932,920
顧客関連資産	549,035	515,420
その他	126,988	120,834
無形固定資産合計	2,734,977	2,569,176
投資その他の資産		
投資有価証券	332,467	302,483
投資不動産	1,000,906	997,891
その他	33,432	34,239
投資その他の資産合計	1,366,806	1,334,614
固定資産合計	10,013,978	10,156,339
資産合計	24,250,157	24,701,937

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成27年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
買掛金	1,102,998	1,401,110
未払法人税等	207,999	263,799
賞与引当金	76,457	78,433
その他	797,065	705,754
流動負債合計	2,184,521	2,449,097
固定負債		
退職給付に係る負債	678,235	686,251
長期未払金	145,370	145,370
長期預り保証金	42,832	34,266
長期預り敷金	19,037	19,037
繰延税金負債	117,424	104,291
その他	39,833	39,661
固定負債合計	1,042,732	1,028,877
負債合計	3,227,253	3,477,974
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	6,791,682	6,791,682
資本剰余金	10,571,419	10,571,419
利益剰余金	2,903,260	3,078,467
自己株式	△315,504	△310,213
株主資本合計	19,950,857	20,131,356
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,482	3,266
為替換算調整勘定	1,031,219	1,060,582
退職給付に係る調整累計額	25,396	20,193
その他の包括利益累計額合計	1,063,098	1,084,042
新株予約権	8,947	8,563
純資産合計	21,022,903	21,223,962
負債純資産合計	24,250,157	24,701,937



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
売上高	5,346,569	5,904,961
売上原価	3,786,183	4,034,267
売上総利益	1,560,385	1,870,693
販売費及び一般管理費	1,333,364	1,437,327
営業利益	227,020	433,366
営業外収益		
受取利息	5,523	5,839
受取配当金	310	517
補助金収入	12,690	2,201
投資不動産賃貸料	26,210	29,398
持分法による投資利益	-	2,322
為替差益	20,128	5,550
その他	18,090	9,349
営業外収益合計	82,955	55,180
営業外費用		
不動産賃貸原価	9,161	11,260
持分法による投資損失	23,294	-
デリバティブ評価損	-	11,597
その他	2,539	3,508
営業外費用合計	34,995	26,366
経常利益	274,980	462,179
特別利益		
固定資産売却益	2,258	93
特別利益合計	2,258	93
税金等調整前四半期純利益	277,238	462,273
法人税、住民税及び事業税	179,351	230,687
法人税等調整額	△4,699	△20,795
法人税等合計	174,652	209,891
四半期純利益	102,586	252,381
親会社株主に帰属する四半期純利益	102,586	252,381

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
四半期純利益	102,586	252,381
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	2,093	△3,216
為替換算調整勘定	△206,720	53,675
退職給付に係る調整額	1,793	△5,202
持分法適用会社に対する持分相当額	△42,724	△24,311
その他の包括利益合計	△245,557	20,944
四半期包括利益	△142,971	273,326
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△142,971	273,326
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	277,238	462,273
減価償却費	319,051	323,745
のれん償却額	126,032	126,032
受取利息及び受取配当金	△5,834	△6,357
持分法による投資損益(△は益)	23,294	△2,322
受取賃貸料	△26,210	△29,398
補助金収入	△12,690	△2,201
固定資産売却損益(△は益)	△2,258	△93
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△123	94
賞与引当金の増減額(△は減少)	△6,255	1,975
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	21,044	2,813
為替差損益(△は益)	△15,976	△12,488
売上債権の増減額(△は増加)	48,227	△294,585
たな卸資産の増減額(△は増加)	△53,377	△213,526
その他の資産の増減額(△は増加)	13,443	45,542
仕入債務の増減額(△は減少)	160,558	300,098
未払金の増減額(△は減少)	4,156	△15,359
その他の負債の増減額(△は減少)	44,681	△32,038
小計	915,001	654,202
利息及び配当金の受取額	29,654	6,870
補助金の受取額	12,690	2,201
法人税等の還付額	3,633	52,547
法人税等の支払額	△295,166	△255,768
営業活動によるキャッシュ・フロー	665,813	460,053
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△932,671	△2,971,694
定期預金の払戻による収入	501,107	2,731,496
有形固定資産の取得による支出	△297,132	△613,987
有形固定資産の売却による収入	2,164	162
無形固定資産の取得による支出	△10,619	△6,894
投資有価証券の取得による支出	△492	△570
関係会社株式の売却による収入	64,367	-
投資不動産の賃貸による収入	26,210	20,832
その他	136	△127
投資活動によるキャッシュ・フロー	△646,929	△840,783

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
リース債務の返済による支出	△14,073	△6,314
配当金の支払額	△45,575	△72,972
ストックオプションの行使による収入	9,007	1,334
財務活動によるキャッシュ・フロー	△50,641	△77,952
現金及び現金同等物に係る換算差額	△38,774	9,093
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△70,532	△449,587
現金及び現金同等物の期首残高	2,601,378	2,526,413
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,530,846	2,076,825

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年4月1日 至 平成26年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,249,154	2,097,414	5,346,569
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,000	20	6,020
計	3,255,154	2,097,434	5,352,589
セグメント利益	126,526	101,535	228,061

## 2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	228,061
セグメント間取引消去	△1,041
四半期連結損益計算書の営業利益	227,020

## 4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	精機関連	光製品関連	合計
売上高			
外部顧客への売上高	3,657,350	2,247,610	5,904,961
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,103	350	6,453
計	3,663,453	2,247,961	5,911,414
セグメント利益	308,592	125,740	434,332

2. 報告セグメントごとの資産に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	434,332
セグメント間取引消去	△966
四半期連結損益計算書の営業利益	433,366

4. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。